

産 業 競 争 力 強 化 対 策 特 別 委 員 会 記 録

1 会議の日時	令和2年10月7日(水)	開 会 午前10時00分 閉 会 午前11時45分
2 会議の場所	議会西棟3階 第2会議室	
3 出席者	委 員	委員長 岩井 豊太郎 副委員長 平岩 正光 伊藤 正博 渡辺 嘉山 小川 恒雄 松村 多美夫 田中 勝士 広瀬 修 恩田 佳幸 山内 房壽 安井 忠
	執 行 部	別紙配席図のとおり
4 事務局職員	課長補佐 蕨野 孝 係長 横川 真澄	

5 会議に付した案件		
件	名	審査の結果
<p>1 産業競争力強化対策に関する調査について</p> <p>(1) 機械設備の稼働状況の「見える化」について</p> <p>参考人</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 株式会社イマオコーポレーション <ul style="list-style-type: none"> ・ 代表取締役社長 今尾 任城 氏 ・ 情報ビジネス部情報ビジネス課 課長 山岡 利幸 氏 <p>(2) ドローンの活用による生産性の向上と付加価値の創出について</p> <p>参考人</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 株式会社ROBOZ(ロボッツ) <ul style="list-style-type: none"> 代表取締役 石田 宏樹 氏 ○ 一般社団法人ジバスクラム恵那 <ul style="list-style-type: none"> 事務局長 田村 猛 氏 ○ 恵那市役所 <ul style="list-style-type: none"> ・ 商工観光部長 谷口 哲也 氏 ・ 商工観光部観光交流課観光施設係長 安藤 潤也 氏 <p>2 その他</p>		

6 議事録

○岩井豊太郎委員長

それでは、ただいまから、産業競争力強化対策特別委員会を開会する。

本日の委員会は、産業競争力強化に関し、今年度の調査項目としている「生産性向上及び高付加価値に関する調査」並びに「多様な人材の活躍に関する調査」について議題とし、ご協議いただくため開催したものである。

本日は、執行部のほか、現状等を報告いただくため、株式会社イマオコーポレーションから、代表取締役社長今尾任城氏と情報ビジネス部情報ビジネス課課長山岡利幸氏の2名、並びに株式会社ROBOZ代表取締役石田宏樹氏、一般社団法人ジバスクラム恵那事務局長田村猛氏、恵那市役所から商工観光部長谷口哲也氏、商工観光部観光交流課観光施設係長安藤潤也氏の4名の方にお越しいただいた。

ご多用のところ、お越しいただき、感謝申し上げます。

はじめに、機械設備の稼働状況の見える化について、ご報告いただく。

質疑については、終了後をお願いする。

それでは、参考人からの報告をお願いする。

(挨拶等：今尾任城参考人)

(議題に関する報告：山岡利幸参考人)

○岩井豊太郎委員長

ただいまの報告に対して、ご質問等はないか。

○平岩正光副委員長

改善活動を始めた経緯を教えて欲しい。また、課題を解決するためのシステム開発なども自社で行っているとのことだが、改善活動を行う特別なプロジェクトチームがあるのか。

○山岡利幸参考人

もともとは稼働時間などの作業日報を紙に書いていたが、紙が溜まっていくだけで活用できておらず、日報を入力、集計できないかという現場の声から始まったもの。特別なプロジェクトではなく、全職員が他に本業を持ちながら、数人でチームを組んで改善に取り組んでいる。

○田中勝士委員

機械設備監視システムは社内用に開発し、現在は社外にも販売しているとのことだが、最初から販売を想定していたのか。

○山岡利幸参考人

最初は社内用に開発していたが、途中から商品化に向けて改良していった。

○田中勝士委員

工場によって加工の仕方や生産物、ロットなどが違ってくるが、機械設備監視システムは他の工場にも対応できるのか。

○山岡利幸参考人

ある程度同業の工場に限られる。

○田中勝士委員

機械設備監視システムに対して、他社からどれくらいの引き合いがあるのか。

○山岡利幸参考人

現在、見える化に関する展示会が数多く開催されており、展示会に出展するなかで全国の企業から引き合いがある。

○田中勝士委員

見える化により工場利益率が向上したとのことだが、一方で投資もしている。経営上はどのように考

えているか。

○今尾任城参考人

投資に見合う効果はあると考えている。

○田中勝士委員

県の補助制度やアドバイザー派遣などは利用しているのか。

○山岡利幸参考人

今はI o Tの導入や活用を支援する補助制度などがあるが、自社ではそれよりも前に開発したことから、補助制度は利用していない。現在は、ソフトピアなどで県内企業にI o Tの導入や活用を促進していく際の先進事例として自社を紹介していただいている。

○松村多美夫委員

新商品を開発する際はどのように行っているのか、改善活動を行うなかで新製品が開発されているのか。

○今尾任城参考人

機械設備監視システムについては、自社の工場で利用しながら改善しているが、それ以外の機械部品については、顧客のニーズを聞き出して、技術部門と相談しながら製品化している。

○松村多美夫委員

競合相手は多いのか。

○今尾任城参考人

どちらかといえばニッチな製品なので、大手の競合相手がいるわけではない。

○松村多美夫委員

細かい部品が多いのか。

○今尾任城参考人

細かい部品もあるが幅広く製造している。

○山内房壽委員

5Gやローカル5Gの活用は考えているか。

○山岡利幸参考人

現在は機械設備監視システムに無線を使用しているが、それを5Gに変えることで社内のデータをクラウドに上げることに抵抗がある企業が多い。ただ、機械設備監視システムに限らず、5Gによって新たなニーズが生まれてくると思うので、そこに対応するためのアイデアは出していきたいと考えている。

○岩井豊太郎委員長

改善活動に全員が参加しやすくなるような工夫はしているのか。

○山岡利幸参考人

10年前に始めたときには反発も多かったと聞いている。当社では、アイデアを出すだけでなく、アイデアを出した上で検証し、検証結果を発表するまでを1か月で行っており、それを毎月繰り返すので負荷も大きいですが、社長や役員も出席してプレゼン審査し、表彰や金一封も用意されているなど、モチベーションを上げる工夫がされている。また、改善活動には、作業改善だけでなく、職場環境改善も含まれることから、自分が今困っていることを言うことができる場としても考えている。

○今尾任城参考人

なるべくハードルを上げず、現状が少しでもよくなればいいと伝えている。また、褒めることも重要と考えている。

○岩井豊太郎委員長

パテントはとっているのか。

○今尾任城参考人

改善活動のなかではないが、製品開発のなかでパテントをとったものはある。

○岩井豊太郎委員長

質問等も尽きたので、第1部を終了する。
大変貴重なご報告をいただき、感謝申し上げます。
第2部準備のため、しばらく休憩する。

午前10時45分 終了
午前10時50分 再開

○岩井豊太郎委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開する。

第2部として、ドローンの活用による生産性の向上と付加価値の創出について、ご報告をいただく。
また、本日は、ご厚意により、敷地内においてドローンのデモンストレーション飛行を披露していただく。

参考人の皆様にあつては、ご多用のところ、お越しいただき感謝申し上げます。

質疑については、終了後をお願いする。

それでは、参考人からの報告をお願いする。

(挨拶：谷口哲也参考人)

(議題に関する報告：田村猛参考人、石田宏樹参考人)

○岩井豊太郎委員長

ただいまの報告に対して、ご質問等はないか。

○小川恒雄委員

美濃加茂市の猟友会でドローンから音を出して猿を追い払っているが、猿の居場所を特定することが難しい。今日の説明でドローンに付けたサーモグラフィカメラで鹿などの位置を特定できるとの話があったが、それを利用して猿の位置を特定して、ドローンから花火を打ち込むなどにより猿を追い払うこともできるのではないか。

○石田宏樹参考人

物理的にはできると思うが、ドローンやラジコン等の無人航空機の飛行ルールに関する航空法の規定の中でドローンに物を載せることや落とすことには許可が必要とされており、物によっては許可が下りないこともある。発想としては面白く、検討していきたい。

○小川恒雄委員

猿は山に入ってしまうとドローンの撮影だけでは場所が特定できない。

○石田宏樹参考人

猿の群れであれば、ドローンに付けたサーモグラフィカメラで場所を特定することができる。

○渡辺嘉山委員

ドローンの値段、飛ばす場所の制限、操縦に免許が必要かどうかについて教えてほしい。

○石田宏樹参考人

ドローンの値段は5千円から、調査用で使うスペックの高いものでは3百万円であり、一般に空撮で使うものは20万円前後である。自由にドローンを飛ばすことができない場所は、空港周辺と150m以上の高さ、人口集中地区と呼ばれるエリアである。人口集中地区とは、1km²あたり4千人の人口がいる場所であり、国土交通省に申請を出して許可を取った者しか飛ばすことができないが、活動拠点としている恵那市では、恵那駅前から国道19号までの区間のみが人口集中地区であり、それ以外の場所では、どこでも自由にドローンを飛ばすことができる。また、ドローンの操縦に免許や国家資格はない。

○山内房壽委員

ドローンに付けたサーモグラフィカメラを活用して、山岳遭難者の発見などの人命救助や風水害の

際の被害状況把握にも活用できるとの説明があったが、恵那市だけでなく近隣市町との連携なども考えているのか。

○石田宏樹参考人

今回の7月豪雨災害では、白川町からの依頼で被害状況の把握のためドローンを飛ばしており、恵那市に限らず、県も含めて行政に働きかけて連携していきたいと考えている。

○松村多美夫委員

ドローンがどれくらいの高度を飛んでいるか把握できるのか。

○石田宏樹参考人

ドローンにGPSが付いており、手元のアプリで高度を把握することができる。

○岩井豊太郎委員長

質疑も尽きたようであるので、報告については、終了とする。

この後、屋外へ移動して、ドローンのデモンストレーション飛行が行われる。

移動をお願いします。

(屋外においてドローンのデモンストレーション飛行を実施)

○岩井豊太郎委員長

本日は、大変貴重な体験をさせていただいた。

参考人の皆様に重ねて感謝申し上げます。

これをもって、本日の委員会を閉会する。

産業競争力強化対策特別委員会 配席図

令和2年10月7日(水)午前10時から
於議会西棟3階 第2会議室

--	--	--	--	--	--

			浅井 産業技術課 IT利用促進室長	松原 新産業・エネルギー 振興課成長産業企画監 兼航空宇宙産業課 航空宇宙産業連携監	
--	--	--	-------------------------	--	--

参考人席	参考人席	長瀬 技術検査課 建設技術企画監	辻 新産業・ エネルギー振興課長	田上 航空宇宙産業課長	加留 農政課 スマート農業 推進室長
------	------	------------------------	------------------------	----------------	-----------------------------

参考人席	参考人席	広瀬 技術検査課長	郷 産業技術課長	伊藤 森林整備課長	山田 農村振興課長 兼鳥獣害対策室長
------	------	--------------	-------------	--------------	--------------------------

参考人席	参考人席	樋口 商工労働部次長 兼東京オリンピック・ パラリンピック 県産品活用促進総括監	崎浦 商工労働部長	桑田 商工政策課長 兼亜炭鉱廃坑対策室長	田口 農政課長
------	------	--	--------------	----------------------------	------------

	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	安井委員 恩田委員 田中委員 小川(恒)委員 伊藤(正)委員 岩井委員長 参考人席 (発表時)
--	-----------------------	-----------------------	--

スクリーン